

2022（令和4）年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1492000235	事業の開始年月日	平成26年8月1日
		指定年月日	令和2年8月1日
法人名	株式会社エクセレントケアシステム		
事業所名	えくせれんと湘南平塚		
所在地	(〒259-1216) 神奈川県平塚市入野294-7		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名 ユニット数 2 ユニット
自己評価作成日	令和4年7月25日	評価結果 市町村受理日	令和4年12月8日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

日々の暮らしの中では、午前中に行う毎日の体操とレクリエーション。天気の良い日は花菜ガーデンや総合運動公園への散策に行きます。月1回の特別食においても力を入れており、ご利用者様からは好評を得ています。また看護小規模多機能を併設していることから緊急時の際は医療面のフォローを受けることもでき、グループホームにおいても看護師1名が在籍をしておりますので喀痰吸引、褥瘡の処置、バルーン交換においても対応可能です。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和4年10月17日	評価機関 評価決定日	令和4年12月3日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、JR「平塚」駅北口8番バス乗り場から神奈川中央交通の「秦野」駅北口行きに乗車、約15分ほど走った金目川沿いにある「長持」バス停で下車し、徒歩5分ほどの所にあります。事業所周辺は住宅地ですが、近くを走る新幹線の高架をくぐるとビニールハウスが点在する畑が広がり、天気の良い日には、遠く丹沢山系や富士山を望むことができる相模平野に立地しています。建物は3階建ての1階が看護小規模多機能型居宅介護事業所、2階・3階が認知症対応型共同生活介護事業所となっています。

<優れている点>

1階の看護小規模多機能型居宅介護事業所から看護師1名が、夜間帯を除いて2階・3階に派遣され、喀痰吸引、褥瘡の処置、摘便といった医療的処置に当たるとともに見守りをするなど、入居者にとって安心安全な態勢がとられています。「食の楽しみ」を重視し、毎日3食すべて職員自らが食材を加工、調理しています。月に一回の「特別食」では「どこの施設にも負けない」と自負するメニューを提供しています。自治会に加入して、施設周辺に不法投棄されたゴミの片付けに参加するなど、地域社会の一員としての活動をしています。

<工夫点>

絵の得意な職員が入居者の似顔絵を描き、居室のドア横に掲示、居室は入居者の氏名ではなく花の名前とすることで和やかな雰囲気となるよう工夫しています。衛生、食事、防災などに関する9つの委員会を設け、職員の提案を施設運営に活かしています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	12～16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	17～23
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	えくせれんと湘南平塚
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	<ul style="list-style-type: none"> ・理念は理解しているが実践には繋がられない。 ・実践につなげている ・朝礼時に理念の唱和を行い、職員全員で共有している ・地域密着型を理解している人が少ないように感じます。 	5つの理念に加えて「Jの介護」(1.時間を大切に、2.自由に、3.自分らしく、4.自適に、5.自立する)を介護方針として設定し、日々、実践をしています。それら理念は、玄関、事務所、職員休憩室に掲示されています。職員は朝礼時に唱和をしてから業務に従事しています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な交流は行っていない ・コロナで制限はあるがある程度は出来ていると思う。 ・ゴミ掃除や広報の作成 	金目地区入野(いの)自治会に加入し、不法投棄されたゴミの片付けなど地域社会の一員としての役割を果たしています。地区の民生委員との交流が活発で、地域に関する様々な情報を得ています。施設広報誌をポスティングし、施設を身近に感じてもらえるように工夫しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々へは活かしていない。 ・実施していない ・地域貢献のために認知症の理解や支援はできていないと思います。現状では難しい。 		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議に参加していない ・会議に参加できていない 	書面開催が続いていますが、2ヶ月に1回、運営推進会議を開催しています。1階の看護小規模多機能型事業所も参加しています。家族、民生委員、地域包括支援センター職員が出席していますが、往診医も出席していることが特徴として挙げられます。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村担当者と連絡行っていない。 ・協力関係は出来ていると思う。 ・実施していない ・認定調査員の方が来た時などは、その方の特徴や取組みを詳しくお伝えし、協力関係は築いていると思います。 	平塚市役所の生活福祉課と連携し、生活保護費受給者を複数名受け入れています。「平塚地域介護システム会議」内に設けられたグループホーム連絡会に出席して、行政職員と情報交換をし、協力関係を築いています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束の研修を受けた事があり、身体拘束等をしないケアに取り組んでいる。 ・研修を通してどこまでが拘束なのか理解し、対応が出来ていると思う ・研修を受け、拘束しないケアに取り組んでいる（スピーチロックなど） 	虐待防止・身体拘束廃止委員会を設け、毎月開催して職員間で振り返りをし、話し合っています。年に2回、身体拘束排除をテーマにした内部研修を開催しています。「危ないですから座っててください」といったスピーチロックをしないように徹底しています。玄関は外部からの侵入防止のため施錠をしています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・GHのため、事業所内だけになるが出来ている ・虐待にあたる行為をしないよう徹底 ・虐待防止委員会が中心となり毎月全体会議において周知活動している。 	「虐待の芽を摘むチェックリスト」を作成し、毎月1回開催される施設全体会議で配布し、職員が自己点検をできるようにしています。無記名アンケートを実施し、他の職員の介護方法に疑問を感じた場合、職員が具体例を記入して管理者に報告する仕組みができています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人の制度は知っているようで、実際はよくわかりません。 ・会議等で話題を持ち出し出来ている ・成年後見人制度について学んでいる ・成年後見人という言葉は耳にするので、なんとなくはわかるが、理解や活用は出来ているようには思えません。 		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・契約に関する事は関わっていない ・個人の利用者様やご家族様と常に連携できている。 ・担当業務ではない ・契約書には目を通したことはあるが実際に契約をとったことがないのでわかりません。 		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族様等と話し合う機会がない。 ・施設長に伝え、その後の対応もして下る。 ・本人・家族の要望は伝えるようにしている ・ご本人やご家族の要望は出来る限り叶えるために工夫しています。 	電話で入居者の様子を家族に報告する際に、意見、要望を聴くようにしています。一部の家族とはタブレット端末を使用して交流をしています。コロナ禍のもと、面会は面談室を利用して15分を限度として行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> あまり理解していません。 月に1回全体会議にて意見など発信する場があるため、出来ていると思う 	虐待防止、衛生・理美容、防災、レクリエーション、給食などに関する9つの委員会を設け、職員はいずれかの委員会に属して意見、提案を述べることで施設運営に主体的に参加しています。意見、提案は月1回開催している全体会議で共有し、施設運営に活かしています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> わかりません あまり出来ていないと思う。 モチベーションが上がるようにコミュニケーションをとっている 	個別面談を年に2回実施しています。職員の意見、要望を聞く一方で、ケアマネジャーや主任による、職員に対する評価の場としても活用しています。施設長は、施設内の良好な人間関係を維持するために、日常的に職員に質問をしたり、意見を聞くように努めています。	調達した食材を職員が加工し調理している点は評価できますが、職員に過度な負担がかからないように調理を主業務とする職員の配置が期待されます。
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	<ul style="list-style-type: none"> わかりません あまり出来ていないと思う。 	新入職員は、法人の人事部とオンラインを通じて研修を行い、施設の現場では1ヶ月間、主任がメンター（指導者）となり職員に寄り添います。職員は研修で学んだことや研修に関する評価を研修報告書として提出しています。資格取得推進制度もあります。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	<ul style="list-style-type: none"> わかりません コロナ禍のため、難しい状況であると思う。 コミュニケーションを図り情報収集する。 		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ご本人の話を傾聴し、信頼して頂けるよう努めている。 出来ていると思う ご本人が安心して過ごせるよう傾聴し、ご本人のペースを尊重している 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族様の要望や意見を聞き、職員に周知させているため出来ていると思う。 ・経験したことがない ・家族と接する事が少ないため、信頼関係を築けていない。 		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族様の要望や意見を聞き、職員に周知させているため出来ていると思う。 ・初期対応をしたことがない 		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼関係になれるよう努めている。 ・出来ている ・洗い物や洗濯物たたみ等出来ることはやってもらう 		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有しながら出来るだけ安心して生活していただけるようにしている ・電話などで、面会に来ていただくなど絆を大切にできるような支援をさせていただく。 		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・馴染みの人・場所を提供できるように努めます。 ・コロナ禍のため、困難な状況である 	<p>コロナ禍以前は、家族のサポートのもとで友人に会いに出かけたり、施設周辺の馴染みのある場所に外出したりする入居者がいます。現在は、電話の取り継ぎや手紙のやり取りをするための支援を行っています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者同士の関係を把握し、孤立しないように声掛けを行っている ・出来る限りやれている ・レクや散歩など関わりあえるよう支援している。 		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・フォローは行えていないと思う。 ・経験していないのでわかりません。 ・関係性は終了しても大切なつながりなため、ご家族様が必要であれば、力になりたいと思う。 		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> ・思いや意向を把握して、対応するよう努めています。 ・やれることは出来ていると思う ・本人のペースで生活できるよう支援している 	入居前に本人や家族から今までの生活状況やこれからの生活の希望や意向を聴き、ケアプランを作成しています。本人から聴き取ることが難しい場合は本人の関係者から聴いたり、入居後の本人が話す言葉、行動などから把握して、共有するようにしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・出来る限り近付けていけると思う ・フェイスシートなどで参照し、把握に努めている 		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・かなり気を配り出来ていると思う ・本人がどのように過ごしているか状態に変わりがないか把握に務めている ・職員同士で声を掛け合い、記録に残すなどし、情報共有している。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	<ul style="list-style-type: none"> ・介護計画を作成したことがありません。 ・介護計画、モニタリングができるようにやっていきたい。 ・事故後のカンファレンスはある ・モニタリングを半年に1回見直し、状態の把握や支援の変更を行う。 	ケアプランの見直しは、6ヶ月に1回、本人や家族、職員や医療関係者の意見も聴きながら作成しています。支援方法を変更する場合は、すぐに本人や家族に説明して随時ケアプランを作成して実践しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の様子も気づきなどあれば、記録に残すように努める ・出来ていると思う ・情報共有ができていないこともある ・様子を見ながらその人にあった支援を行う。 		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに対応できるよう取り組んでいきたい。 ・ある程度出来ていると思う ・本人の様子を見ながら、適した支援が行えるよう努めている ・フロア内で記録に残し、情報共有をしている。 		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人様が安全に暮らしていけるよう努めている。 ・コロナ禍で行けない状況である 		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のかかりつけ医に往診していただいている。 ・提携の病院が月に2回の診察が出来る 	内科は月2回、歯科は毎週来訪しています。入居以前の医院に通うことも可能ですが、現在は入居者全員が事業所提携の医院を主治医としています。看護師1名が在籍し、さらに看護小規模多機能を併設しているため、喀痰吸引、褥瘡の処置、バルーン交換などにも対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> 気づいたことや何らかの変化等あれば、都度看護師に伝え、相談をしている。 できていると思う 情報共有したり相談したりし、助言を受けている 		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 病院関係者とは関係づくりしていると思うが、現場には把握できていない。 まだ経験していないので、把握出来ていない。 		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ご家族様との話し合いを行い、要望の中で、最後まで安心していただけるよう支援していく。 連携出来ていると思う 情報が共有されていないためわからない 	重度化の対応や看取り介護について入居時に説明しています。重度化になった時は、医師と相談して家族に説明し、医師、看護師、家族との話し合いを重ねながら、看取りを行っています。職員は年に1回、看取りについての研修を受けています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> 急変時の研修は受けているが、実際起こったときは不安が残る。 まだ身に付けていない 緊急時対応マニュアルを活用している。 		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> 今後、避難訓練等で身につけていきたい。 避難訓練などの訓練を定期的に行う 避難訓練をレクの一環としても取り入れて、いつでも万全に整えたい。 	年に2回避難訓練を行っています。1回は、消防署立ち合いの訓練を行っていますが、コロナ禍であり、近隣住民を交えての訓練には至っていません。3日分の食料備蓄、備品を計画していますが、それぞれの新たなリストを確認しながら作成中です。	災害時の食料の備蓄・備品のチェックと、早急なリストの作成が期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシー、尊厳など守り、確保できるよう、対応を心掛けている。 ・ある程度出来ている ・心掛けた対応を行っている 	入居者を「さん」付けて呼んでいます。居室のドアを開けたままにしている入居者には、訪室して、何気ない会話をしながらドアを閉めるようにしています。排泄時や入浴時は、一人ひとりに合わせた、プライバシーや尊厳を守る支援をしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・自己決定の支援を心掛けている。 ・会話等で読み取れるよう努力している ・本人の思いや希望を聞き出せるよう傾聴する。 		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを理解し、その人らしい暮らしが出来るよう心掛ける。 ・まだまだ出来ていない ・本人のペースで生活出来るような支援を心掛けている 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・起床時や気づいたときは、身だしなみに気を付けるようにする ・出来ている ・髪を溶かす、服を選んでもらうなどの支援を行う 		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・食事を楽しんでいただく為に、味付け等工夫している。 ・出来る人には力になってもらい、出来ている ・出来る方には協力してもらい、準備や片付けをしている ・食器拭きをしていただいている 	食材の配達業者委託し、職員が毎日調理をしています。行事食は給食委員会を中心に作ります。「重箱弁当の日」、「16穀米の日」、「そばの日」など多様な食事の入居者の楽しみとなるように工夫しています。玉ねぎの皮むきや配膳、下膳の手伝いをする入居者もいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・無理をしない程度に食事や水分を摂って頂けるよう努めている ・気を配り、把握している ・ヨシケイなどの栄養バランスの取れた食事の提供 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・能力や残存機能を活かしたケアやその手伝いができるように努めている。 ・出来ている ・個人に適した口腔ケアを行っている 		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの状態に応じたケアが出来るように努めている。 ・一人一人のリズムを掴めるよう努力している。 ・定時で誘導したり、パットなど汚染しないよう努めている 	トイレでの排泄を基本に、一人ひとりの排泄間隔を把握して、スムーズな誘導を心がけています。入院のためオムツ使用で退院して来た入居者が、パットを使用して、自立排泄ができるようになった例もあります。夜間は睡眠を優先した介助をしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みは難しく、なかなかできていないように感じる ・食は中々難しいが飲のほうで取り組んでいる ・飲み物にオリゴ糖を加えるなどし、予防に努めている。 		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴の曜日はきまっている。拒否強い方などにはむりしないように努めている。 ・入浴日を決めてしまっている。 ・現状では難しいため、実施出来ない 	毎月「風呂の日」を設け、入浴剤で気分転換できるように工夫しています。湯は都度入れ替え、入浴剤の使用も自由となっています。入浴は週2回としています。入浴が嫌いな入居者にも、声掛けの方法などを工夫して入浴できるように支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・日中の傾眠も含めて適切に対応するよう努めている。 ・出来ている ・居室ベッドで休めない場合、ソファを使っていただくなど本人の寝やすいよう支援する 		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・薬の目的等理解できていることは少ないがしっかりと服薬して頂けるよう努めている。 ・個人の服薬帳があり、症状を確認することができている ・薬の理解に努めている 		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の好み等まで全てを把握は出来ていないが、出来る限り楽しく過ごしていただけるよう努めている。 ・もっと取り組んでいきたいと思う ・得意なこと、好きなことを支援する 		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・外出支援は行えていない。 ・コロナ禍が落ち着いたら増やしていきたい ・人員次第では、近場に散歩に行くなどする 	近所の散歩に時々出かけています。近所の花と緑のふれあいセンターや総合公園や湘南平などへ桜や鯉のぼり、紫陽花などを見に車で出かけています。コロナ禍で、本人が希望する買い物の支援は自粛していますが、季節を感じられるようなドライブを計画しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・お金の所持や使えるような支援は行えていない。 ・認知のある方なので困難である。 ・金銭管理の支援は実施していない。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・電話や手紙などの支援は行えていない。 ・先方からの受け入れは出来るがこちらからのやり取りは困難な方が多い ・家族から電話があったときは本人につないでいる。 		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・共用スペースの掃除を行い、空調の調整等利用者様が居心地よく過ごせるよう心掛けている。 ・浴室が老朽化もあるためか清潔感は失われている ・季節の飾り、共有空間はきれいにする 	リビングには職員と入居者が制作した作品を展示して季節感を感じられるような工夫をしています。リビングやトイレの掃除は職員が毎日行っています。各ユニットに加湿空気清浄器を設置しています。入居者がテレビや会話など、それぞれの時間を居心地よく過ごすことができるような配慮を心掛けています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人様の希望で居室で過ごしたい方やフロアで過ごされたい方など個人の意志を尊重している。 ・ある程度、その様な場所はあると思う ・必要な時ソファへ誘導する 		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・居室の掃除等を行い、ご本様が快適に過ごして頂けるよう努めている。 ・ご本人様に危険がないよう、配慮出来ている ・自宅から持参されたものや家族から用意したものを使用している 	入居者は馴染みのタンスや鏡台、仏壇などを持ち込み、家族の写真や人形を飾って、自分の好みの部屋の配置にしています。エアコン、カーテン、照明器具は備え付けとなっています。シーツ交換を週1回行い、小まめに居室の清掃をして清潔にも気をつけています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の出来る事出来ないことを把握し、安全に自立した生活を送っていただけよう努めている。 ・もっと工夫をしていきたいと思う。 ・トイレをわかりやすくするなど場所の把握に努めている 		

事業所名	えくせれんと湘南平塚
ユニット名	3F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝 朝礼時に唱和をして出来るだけ実践につなげている ・理念に関し意識が出来る状況を作っている ・事業所内に理念を掲示している 		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	<ul style="list-style-type: none"> ・週2回 事業所付近のゴミ拾いするとともに、先日は新幹線ガード下にある自治会管轄のゴミ拾いした ・以前は地域ボランティアの方が折り紙教室やコンサートのため来設されたがコロナ禍なので実施していない 		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問された方に向け 玄関に高齢者福祉に関する資料が置かれている 		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議に参加していない 		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・協力関係は出来ていると思う。 ・認定調査員の方が来た時などは、その方の特徴や取組みを詳しくお伝えし、協力関係は築いていると思う 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	・身体拘束防止委員会が中心となり毎月全体会議において周知活動している。 ・法定研修を行いフロア職員と共に把握して取り組んでいる		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	・虐待防止委員会が中心となり毎月全体会議において周知活動している。 ・法定研修を行いフロア職員と共に把握して取り組んでいる		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	・法定研修を行いフロア職員と共に一応は理解出来ている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	・契約の締結、解約又は改定等の際は管理者にて利用者や家族等に十分な説明を行っている		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	・運営推進委員会が行われていないため又は事務室前に設置の意見箱が目立たず、ご家族の目に留まらない ・直接もしくは電話にて意見や要望をいただいている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回 全体会議を行っている ・意見等 思いついたら言葉で伝えるよう協力している 		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・職場環境に努めている ・モチベーションを上げれるよう協力している 		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回 全体会議の中でテーマを決めた法定研修を行って知識を得るとともに、働きながら職員皆が同じケアが出来るよう話し合い実践している 		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの中からの情報収集 		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に馴染んでいただく ・入所前の生活リズムを極力変えないようにする ・利用者と同じ目線まで重心を下げて傾聴しケアを行っている ・共通の話題を模索しながら 生活歴や趣味等から距離を詰めながら接している 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族より意見をいただき、フロア職員とともに実施している ・面会に来られた家族の要望等を傾聴し主任や施設長に伝えた ・短い時間の中で ご家族に満足していただけるよう協力している 		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族より意見をいただき、フロア職員とともに実施している 		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人だけでなく他利用者様の間に立って出来るだけ良好な場を築いている ・答えなくても話しかける ・洗濯物をたたむ 食器拭き 新聞を折る等をしてもらっている。職員が感謝の気持ちを伝えると とても嬉しそうです 		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の話を交えながら思い出の話等で交流を深めている ・情報共有しながら出来るだけ安心して生活していただけるようにしている ・病院受診に付添っていただいたり必要物品を届けていただく。面会に来ていただく等 ご協力いただいている 		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため実施は難しいが出来るだけ面会出来るよう“場”を設けている ・記憶に残っていることを聞きながら今後のキーワードとして活用している 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	・状況をみて利用者同士の関係を構築して援助を行っている ・なるべく共有スペースで過ごせるよう声掛けを行っている。 ・利用者様皆様が楽しめるよう体操等のレクリエーションを毎日行っている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	・その状況になったことがないが、あれば相談や行動にうつしていきたい		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・本人本位は難しいが生活状況を把握しケアやプランの作成を行っている ・利用者様から希望や意向を告げられることもあるが出来ないことも多々あり傾聴に努めている ・出来るだけ本人の意向を踏まえるよう努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	・アセスメント等の情報を把握している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	・フロア職員と情報共有している ・職員全員がケアカルテに目を通すことで利用者様の状態 変化等を共有出来ている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で直接お会い出来ないが電話(照会)で現状を伝えて介護計画を作成している ・利用者様に合った介護計画になるように提案や意見を出している 		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアカルテを用いて記録 フロアノートや話し合いをしながら介護計画を見直して実践している ・個人記録は出来るだけ詳細に記録し利用者様の変化等は申し送りし職員間で共有している 		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・フロア職員と情報共有し実践している ・ご家族が高齢や遠方の方の依頼で利用者様の身の回りの買い物をしたり病院受診の付添をしている 		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍もあり、地域交流がない 		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の希望する提携医院の受診が出来る。歯科医院や必要に応じて整形外科を受診したり神経内科が往診に来てくれることもあった ・提携医院が月2回 訪問診療いただいている 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭やフロアノートを用いて相談や助言をいただきながら一緒になって行っている ・なるべく情報共有している。利用者様同士 挨拶だけでも接点もてるよう協力している ・利用者の変化や疑問等 看護師に報告・相談し 		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・提携医師と管理者や看護師と連携し病院関係者との情報交換や相談を行っている 		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・直接説明してはいないが管理者からの情報を把握し支援に取り組んでいる ・連携を図っている 		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的ではないが救急搬送時の情報を共有している ・緊急対応マニュアルを活用している ・職場内研修にて看護師指導の下 異物除去や感染症対策等の勉強をしている 		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協力体制は築けていないが年2回避難訓練を行っている ・災害が発生した時の避難所となっている地域との協力体制が築けている ・ネット配信等で周知していてスムーズな対応が出来るよう協力している 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	・プライバシーを損ねることがないように対応している ・一人一室の居室を持ちプライバシーを確保している。職員はその方の誇りを損ねないように配慮してケアをしている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	・意志を尊重して自己決定出来るように取り組んでいる ・なるべく選択の自由をと思うが本人の思いや希望に応えることがあまり出来ていないと感じる ・協力しているがお一人様のみに対応するのは難しい		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	・本人の自由にしている ・協力しているがおひとり様のみに対応するのは難しい ・居室でも共有部分でも過ごせるよう支援している ・安心して生活していただけるようペースを大切にケアをしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	・季節に合った服装を着用いただき身だしなみに注意をはらっている ・モーニングケアを行い 髪のカットは来設される美容師が実施		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	・毎日ではないが食器拭きをしていた ・以前は職員と一緒に調理をしていただいていた ・定期的にイベント食を提供や異なった器で食事提供やパンを提供している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・業者よりメニューや食材を調達し、食事量・栄養バランスを確保している ・食事量や水分量は記録し問題があれば看護師や主治医に相談している。食事形態は個人に合わせ提供している 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎食後 ご本人の力に応じた口腔ケアを行い 清潔保持している。 ・週1回 歯科往診があり指示を受けて行っている 		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄パターンを把握し声替えや意志を尊重している。 ・なるべくトイレで排泄してもらうよう、全介助の方には職員2人で対応している。また排泄のタイミングを職員で共有し実践している 		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・便秘予防として下剤服用や腹部マッサージしている ・体操等で身体を動かすよう働きかけ 乳製品を摂ってもらっている ・看護師と連携し対応している 		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・週2回の入浴スケジュールの中で希望に沿った時間帯で入浴支援している ・入浴拒否時は無理強いせずタイミングに合わせて入浴している ・定期的に入浴剤を用いたイベント(ふろの日)を実施している 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・休息の訴えや就寝介助を生活習慣を把握しながら行っている ・生活にメリハリをつけるため体操等レクリエーションを実施している ・寝具等洗濯や好天日に日干しをしている 		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・提携医師から処方された薬を提供するとともに症状にへんかあれば看護師を通して医師に情報提供している ・協力医 薬剤師 併設連携に基づき支援している ・処方箋をファイルしており職員が理解できるようにしている 		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様に希望を聞いてレクリエーションを行っている ・洗濯物を畳む 食器を拭く等 毎日される方時にはご自身の洋服の繕いをされる方もいる 		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な外出は出来ていないがレク委員会で計画をし実践している ・コロナ禍で人と接する所へは行けないが社有車で季節感を味わうものを観にドライブすることも多い 		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・現在 お金を所持されている方はいない。支援も行われていない 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	・利用者様からは無いが、ご家族から本人と話したいとのご要望があれば繋いでいる		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・共有空間に季節に合った飾りつけ ・レク実施後の写真を貼り付けて利用者様と話をしている。 ・毎日の清掃 環境整備 空調管理		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	・食事席に配慮している ・ソファを設置し独りになれる場所を設けたりレクリエーション時は気の合った人同士で過ごせるよう配慮している		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・居室に自宅で使用されていた家具や写真等を飾り 出来るだけ自宅と同じような環境にしている ・本人の使い慣れたものを持ってきていただき、仏壇を置いている利用者様も数名いる		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	・安全に生活出来るよう内部に手摺りを設置している ・トイレにはドアに表記すると共に装飾品を飾っている。歩行時 危険な物は直ぐに取り除く等 工夫している ・意欲のある事への積極的参加の支援		

2022年度

事業所名 えくせれんと湘南平塚
 作成日： R4年 12月 8日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	社内での取り組みとして年間研修制度を設けており職員が独自で選んだ研修に参加する仕組みとなっているが、「分らない」で解決し参加していない。	各自が決めた研修の参加を促進し参加率80パーセントを目指す。	全体会議の場において月毎に、その月で開催する研修内容を発表する。メンター制度など現在実施している取り組みの実施状況も併せて発表する。6カ月で参加状況を把握し1年のスパンで改善する	1 2 ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月